

平成 28 年 2 月 5 日

各 位

会 社 名 フューチャーアーキテクト株式会社
代表者名 代表取締役社長 東 裕二
(コード番号 4722 東証第一部)
問合せ先 執行役員 中島 由彦
(TEL (03) 5740 - 5724)

平成 27 年 12 月期 連結業績のお知らせ

1. 平成 27 年 12 月期連結業績について：

当社グループの当連結会計年度の連結業績は、

売上高	35,293百万円	(前年同期比 2.5%増)
営業利益	4,869百万円	(前年同期比 12.1%増)
経常利益	4,836百万円	(前年同期比 11.8%増)
当期純利益	2,659百万円	(前年同期比 19.8%増)

となり、連結の売上高・営業利益・経常利益・当期純利益のいずれも、3期連続で過去最高を更新しております。各セグメントの業績については以下のとおりです。

(1) ITコンサルティング事業

一部の既存プロジェクトがその完成によって終了しましたが、ITシステムの刷新・統合に係る製造業・流通業・サービス業の新規プロジェクトの受注や金融クラウド(SKYBANK)、ネット証券や流通業・サービス業の新規顧客の獲得が進んだことにより第4四半期に売上高が増加し、国内のITコンサルティング事業の売上高は前連結会計年度比で増加しました。また、プロジェクトにおける活動や成果物をすべてデータベース化し、プロジェクト進捗のモニタリングと成果物の品質チェックを自動化する当社グループ独自のプロジェクト運営手法の全プロジェクトへの適用によりプロジェクト毎の利益率が改善しました。

一方で、東南アジアのビジネスについては、マレーシアは好調であったものの、採算性の低いシンガポール・タイの整理を行ったことから、海外のITコンサルティング事業の売上高は前連結会計年度比で減少しました。

この結果、売上高は21,589百万円(前連結会計年度比0.5%減)、営業利益は4,647百万円(同15.9%増)となりました。

(2) パッケージ&サービス事業

FutureOne 株式会社は、パッケージソフトの導入やそのカスタマイズ開発については堅調に推移しました。一方で、低採算案件の整理を行ったことから、前連結会計年度と比較して減収減益となりました。

当連結会計年度から連結寄与している株式会社マイクロ・シー・エー・デーは、自社製の総合知的財産管理システムの販売が好調であり、想定どおりの売上高・営業利益を達成しました。

この結果、売上高は 4,355 百万円（前連結会計年度比 8.5%増）、株式会社マイクロ・シー・エー・デーののれん償却額を反映した営業利益は 319 百万円（同 6.5%減）となりました。

(3) ニューメディア&ウェブサービス事業

株式会社eSPORTSは、スポーツ・アウトドア・フィットネス用品のネット販売が年間を通して好調であったため、売上高は前年比で増加しました。利益率の高いプライベート商品の売上高に占める割合が増えたものの、ポイント競争の激化やプラットフォーム利用料の上昇、円安の影響等により営業利益率は前年比で低下しました。

東京カレンダー株式会社は、2015年1月に新たにオープンしたサイトのページビューが12月に月間1,000万を超えるまで成長し、リアルとネットの双方で広告収入が増え始めており、第4四半期では営業黒字となりましたが、通期では営業損失となりました。

この結果、売上高は4,913百万円（前連結会計年度比15.4%増）、株式会社eSPORTS等ののれん償却額を反映した営業損失は122百万円（前連結会計年度は13百万円の損失）となりました。

(4) 企業活性化事業

食品スーパーを営む株式会社魚栄商店において、ITの利活用により、各店舗の商品毎の売上高、仕入及び在庫のデータ管理を徹底し、商品廃棄や在庫の減少を図ることで、粗利率が上昇するとともにキャッシュフローが改善しました。

この結果、売上高は 4,473 百万円（前連結会計年度比 0.0%増）、営業利益は 10 百万円（前連結会計年度は 35 百万円の損失）となりました。

(注) 文中のセグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を調整前の金額で記載しております。

なお、当連結会計年度より、当社の顧客向け保守運用サービスが主たる業務となったフューチャーインスペース株式会社をパッケージ&サービス事業からITコンサルティング事業に、電子

カルテのクリニック向けクラウドサービスが増加したライフサイエンスコンピューティング株式会社をITコンサルティング事業からパッケージ&サービス事業に、それぞれセグメント変更をしております。前年同期比については、前連結会計年度の数値をセグメント変更後の数値に組み替えた上で比較を行っております。

2. 平成28年12月期業績予想について：

当社グループの平成28年12月期の連結業績は、

売上高	37,000百万円	(前年同期比	4.8%増)
営業利益	5,200百万円	(前年同期比	6.8%増)
経常利益	5,220百万円	(前年同期比	7.9%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,880百万円	(前年同期比	8.3%増)

を見込んでおります。各セグメントの特記事項は次の通りです。

(1) ITコンサルティング事業

当社グループでは、仕様書やマニュアルが不十分なままブラックボックス化したレガシーシステムをソースコードまでさかのぼって科学的に分析し、最新のオープンシステムとして再構築する複数の大型プロジェクトを成功に導いてきました。その際、単なるアイデアの提示にとどまることなく、リアルタイムなデータの処理を可能にする自社製コンポーネントを基に、グラウンドデザインから開発に至るまでを首尾一貫してサービスを提供してきました。この実績が評価され、流通業・サービス業だけでなく、金融業・製造業など業種を問わず、多くの顧客から受注をいただいております。

次期についても、当連結会計年度に既に受注したプロジェクトや引き合いをいただいているプロジェクトの売上が拡大することを見込んでいます。また、当社グループ独自のプロジェクトのモニタリングとマネジメント手法を最大限に活用して、プロジェクトの効率化と品質の向上をさらに進めることで利益率の改善と、顧客の未来価値の拡大に努めてまいります。

また、フューチャーインスペース株式会社は、フューチャーアーキテクト株式会社との技術的連携をより強化することで、システム稼働後の確実な保守運用サービスを顧客に提供してまいります。

(2) パッケージ&サービス事業

FutureOne 株式会社は、自社製パッケージ・ソフトウェア製品の機能刷新や開発ツールの整備を継続的に行ってきたことを活かし、既存顧客のリプレースや新規顧客の獲得に努めてまいります。また、販売チャネル拡大のためにビジネスパートナーとの提携の増加や名古屋地区でのオフィス開設に加え、他社製のERPやEC関連ソリューションなどの導入も増やしていくことで、売上高・利益の拡大を目指します。

株式会社マイクロ・シー・エー・デーは、自社製の総合知的財産管理システムの機能の追加・改善を継続して、顧客基盤を拡大させるとともに、当社と連携して製品ライフサイクルマネジメント（PLM）など製造業向けのサービスの拡大を進めてまいります。

（３）ニューメディア&ウェブサービス事業

株式会社eSPORTSはスポーツ・アウトドア及びフィットネス関連に加え、DIYやペット関連などの領域も商品ラインナップに加え、品揃えを拡大してまいります。同時に、顧客が欲しがる商品を新規に開発するプライベートブランド商品への取り組みも引き続き拡大いたします。また、スポーツと健康をキーワードに現在準備中のウェブサービスを早期に導入し、収益基盤の拡大を目指します。

東京カレンダー株式会社は、レストランやグルメ情報を提供することにとどまらず、上質なライフスタイルを読み物として伝えるニューメディアとして、ページビューが短期間で飛躍的に増加しました。今後はこの知名度や蓄積したノウハウを活用してウェブサービスの領域を広げながら通期での黒字化を目指してまいります。

コードキャンプ株式会社は、オンライン・オフライン双方でプログラミング教育サービスを提供する基本的な体制は整いましたので、今後はよりパーソナル性や利便性を強化しながら、多くの人が同社のサービスを通じてプログラミングを学習できる機会を拡大していくことを目指します。

（４）企業活性化事業

株式会社魚栄商店においては、ITシステムの利活用により、商品毎の売上高や仕入・在庫データ分析を継続して行うことで、消費者の嗜好を捉えた品揃えを実現して売上を拡大する一方で、廃棄ロスを最小限にして利益率の改善を図ってまいります。また、オリジナル商品の提供やロボット「Pepper」による接客など消費者の来客を促す取り組みについても継続してまいります。

なお、平成28年12月期の配当は、同日発表の「配当方針の変更及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」に記載の通り、配当性向の目安を従来の個別業績における30%以上から連結業績における35%以上に変更した新方針に基づき、1株当たり25円の普通配当（中間配当12円50銭、期末配当12円50銭）を予定しております。

（参考：平成28年12月期業績予想および前年同期比）

	平成27年12月期 実績	平成28年12月期 予想	前年同期比
売上高	35,292百万円	37,000百万円	4.8%増
営業利益	4,869百万円	5,200百万円	6.8%増
経常利益	4,836百万円	5,220百万円	7.9%増
当期純利益	2,788百万円	2,880百万円	8.3%増
1株当たり当期純利益	62.40円	64.42円	+2.04円
1株当たり配当金	23.00円	25.00円	+2円

以上